

令和4年度 大阪府立布施高等学校第1回学校運営協議会全日制部会 議事録

日 時：令和4年7月8日(金) 15:30~17:00

場 所：校長室

出席者：委員5名（久委員 川添委員 大里委員 阿部委員 森戸委員）

事務局：校長、事務部長、教頭、首席2名

1. 学校長挨拶

2. 会長、副会長選出

3. 会長挨拶

4. 報告

- ・学校概況・進路状況について
- ・教科書選定について事務局より報告され、承認。

5. 協議

〈令和4年度学校経営計画〉

○進学状況について

- ・地方の国公立に進学したがる理由は経済的なことか。
  - 本校では予備校にしている生徒が増えているので、そうとは限らない。
- ・国公立を志願する生徒は減っているか。
  - コロナ禍で生徒が保護者と話す時間が増えて、早く進学先を決めたい保護者の意見が反映していることが影響していると考えられる。
  - 生徒が「無理をしてでも国公立大学に進学したい」という気持ちにならないためではないか。

○通級学級指導について

- ・今年度から通級学級指導を行っているが、該当生徒はどのように決めているのか。
  - 担任や教科担当者が、対人関係に課題がある、提出物がきっちり出せない等で判断している。
  - 保護者からの申し出にも対応している。
- ・指導の方法はどのようなものか。
  - 具体的な指導は2学期から、個別の指導計画を作る。
- ・地域によっては、幼稚園小学校中学校とケアを共有している地域もある。
- ・1人の生徒のケアをすると、周囲の生徒の理解度が上がる。一番状況が厳しい生徒に合わせると、結果的に全体がよくなっていく。

○地域連携について

- ・地域連携で避難訓練を地域の中学校、高校と一緒にしている地域がある。サポートをしてくれる若い人がいる地域は安心感があり、生徒にも良い影響がある。

○クロームブック導入について

- ・クロームブックが導入されたが、教員用も同じものを持っているのか。
  - 同じものを準備している。今年度中にほぼ全員にいきわたる計画。

○グローバル資質の育成について

- ・グローバル資質をどのように育成しているのか。

- 1年生の授業でクロームブックを利用して世界の弁当コンテストを題材とした授業をしていた。  
また、来年の台湾修学旅行のための準備として、オンライン国際交流を計画している。(10月頃実施)
- 英語の勉強はネイティブよりも台湾の生徒のほうが良いと思う。英語はただの道具であって、話そうとするモチベーションが大事。片言でもジェスチャーでも通じる。

#### ○働き方改革について

- 働き方改革はどんな取り組みをしているか
  - 定期テストの採点で、デジ楽採点ソフトを取り入れ、教員の採点業務の軽減に取り組んでいる。
  - 朝の欠席連絡をさくら連絡網のみにしたため、教員の電話当番を廃止した。
- チーム布施高校、同僚性の教員の肯定率が低いことについて、計画的な人材育成、アンケートの結果からその声を追いかけているか。フリートークなどをしてはどうか。管理職の用意した研修では、ミスマッチが起こる。教員が望んでいることを聞き出してみてもどうか。

#### 〈スクール・ミッションの策定〉

- 「教学相長」の理念から次の「どのような生徒を育てるか」の繋がりが見えにくい。具体的なほうが良い。「教えるのは誰か」「学ぶのは誰か」を明確にすべき。
- 抽象的な言い回しが増えると、落とし込みができなくなる。かみ砕いた言葉を使ったほうが良い。
- 地域との関係がある文章が入ったほうが布施高らしくてよい。
- 作成途中で解説文を付けるなどして、最後に文章にしていくと理解度が増す。解説文、解説図を付けて文章を作成していくとよい。